

答えは、無茶苦茶。
しかし、気にしない。

この今の無茶苦茶を
ちゃんとする為に
また、すらすら、英語が話せる為に
やっているんだ。

指導資料として
今の僕の實力を
ありのままに、記録して
送るものだから。

すぐ、投函する。

夕めしを食べると
もう七時半になっている。
そこで、部屋に戻り、英文解釈を、またやる。
十一時頃、やめる。

きのうはいい事があった。
それを思い出していた。

あの人に会えた。
冬休みに、会えるとは、思わなかったのに。

早く来い来い、学校へ行く日さんも、
ついに、明日になった。

明日からは、毎朝、観月橋を渡って、
宇治川を眺めながらの通学だ。

